

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
大	事業	201	保健衛生事業	中	事業	01	保健衛生事務事業		
小	事業								他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-6	地域医療体制の充実		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	356	376	352	△ 20
	人件費	1,261	470	1,564	791
	総事業費	1,617	846	1,916	771
人員	正職員	0.18 人	0.07 人	0.22 人	0.11 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.07 人	0.22 人	0.11 人
財源内訳	国県支出金	0	0	48	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,617	846	1,868	771

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	保健事業の円滑な遂行のために、保健師等の資質の向上を図る。また、食中毒予防のために市民に対し啓発を行う。
【事業の概要】	研修受講等により、保健師等専門職の資質向上を図る。 食中毒予防活動を強化するため「坂井食品衛生協会坂井市地区部会」に事業補助をする。
○旅費(研修旅費)	23 千円
○需用費(消耗品費、食糧費)	58 千円
○負担金	75 千円
国保連合会市町保健師負担金	25 千円
福井県自治体病院開設者協議会負担金	50 千円
○補助金(坂井食品衛生協会坂井市地区部会事業補助金)	200 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	件	目標	0	0	0	0	0
			実績			0	0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		坂井市内飲食店等での食中毒発生状況						
指標	独自指標	回	目標	45	45	45	45	45
			実績			37	37	42
			達成率(%)	0.0	0.0	82.2	82.2	93.3
指標の説明		食品衛生協会が実施した食中毒予防巡回指導回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	坂井食品衛生協会役員と協議し、健康・食育フェスタ会場で市民に対し、食中毒予防の啓発普及を実施しました。市内の幼保園児を対象に手洗いの仕方等を実際に行ってもらい指導する「手洗い道場」を開催し、食中毒の予防に努めました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	市民に対して、さらに食中毒予防について広報・普及活動を行っていく必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績	健康・食育フェスタのように多くの市民が参加するイベントで広報活動を行いました。また、保育園児に対し、手洗いの大切さを機器を使い実践してもらうことで、食中毒の予防に努めました。	

6.今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度		
方向性の説明	市民に対しての食中毒予防の啓発活動の指導を強化し、適正な補助金の見直しを図ります。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名（小事業）				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費
大	事業	251 救急医療対策事業	中	事業	01 救急医療対策事業	
小	事業					他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-6	地域医療体制の充実		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-2	妊娠・出産支援の充実		
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	厚生労働省救急医療対策実施要綱			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
夜間や休日など一般診療時間外での急病患者的の医療を確保することを目的とする。	
【事業の概要】	
<ul style="list-style-type: none"> 在宅当番医制事業 坂井地区医師会に委託して、休日、祝日、年末年始の昼間の診療を確保する。 病院群輪番制病院運営事業 嶺北11市町が7医療機関に補助して、休日、夜間の急病患者的の診療体制を確保する。 小児救急医療支援事業 嶺北11市町が4医療機関に補助して、小児の夜間の診療体制を確保する。 福井県子ども急患センター 嶺北11市町、県と県医師会が連携して、平日の夜間、休日の小児救急医療を確保する。 二次救急医療運営事業 坂井地区医師会に委託して、坂井地区の私的二次救急告示医療機関の救急搬送受け入れ体制を確保する。 	
○需用費 (消耗品費)	41 千円
○委託料 (在宅当番医制事業委託料)	4,091 千円
○補助金	6,131 千円
病院群輪番制病院運営事業補助金	1,263 千円
小児救急医療支援事業補助金	1,323 千円
二次救急医療運営事業補助金	3,545 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> 在宅当番医制 小児救急医療支援
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	10,263	10,380	6,676	△ 117
	人件費	1,612	873	1,777	739
	総事業費	11,875	11,253	8,453	622
人員	正職員	0.23 人	0.13 人	0.25 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.23 人	0.13 人	0.25 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	882	932	882	△ 50
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	10,993	10,321	7,571	672

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	在宅当番医の利用者数	人	目標					
			実績			2,998	3,191	2,737
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標	小児救急医療の利用者数	人	目標					
実績						326	342	
達成率(%)			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標			目標					
実績								
達成率(%)			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標			目標					
実績								
達成率(%)			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	市民の安心安全な生活を守るため、救急医療体制が確保できています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	市民の安心安全な生活を守るため、救急医療体制が確保できています。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	引き続き、市民の安心安全な生活を守るため、救急医療体制を確保し、維持していくために継続します。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-2	妊娠・出産支援の充実
	基本施策	2-3	妊娠・出産環境の拡充			
実施事業名(小事業)	救急医療対策事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>休日・夜間の救急医療体制や特に専門の診療を要する小児救急体制を確保することで安心な市民生活の向上を図ることができます。 #8000こども救急医療電話相談を継続して実施するなど、更に市民が適切に救急医療を利用することができるよう事業の啓発を図る必要があります。</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
大事業	001	予防接種事業			中事業	01	予防接種事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	■こどもインフルエンザ予防接種助成金
--------------	--------------------

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進			健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-3	子育て支援の充実			
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	予防接種法				
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 接種を受けた個人に免疫をつけることにより、感染及び発症の予防や重症化の予防を図る。また蔓延化を防止することにより、公衆衛生の向上及び増進を図る。

【事業の概要】
 協力医療機関に委託して実施します。

○需用費 (消耗品費、印刷製本費)	438 千円
○役務費 (特例予防接種手数料)	174 千円
○委託料 (予防接種委託料)	176,906 千円
○補助金	6,722 千円
高齢者インフルエンザ予防接種費助成金	51 千円
こどもインフルエンザ予防接種費助成金	5,222 千円
流行性耳下腺炎予防接種費助成金	1,354 千円
風しん予防接種費助成金	81 千円
高齢者肺炎球菌予防接種費助成金	14 千円

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	184,240	191,372	173,536	△ 7,132
	人件費	12,821	10,942	11,064	1,879
	総事業費	197,061	202,314	184,600	△ 5,253
人員	正職員	1.77 人	1.63 人	1.49 人	0.14 人
	臨時職員	0.23 人	0.10 人	0.23 人	0.13 人
	人員計	2.00 人	1.73 人	1.72 人	0.27 人
財源内訳	国県支出金	0	0	101	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	197,061	202,314	184,499	△ 5,253

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	%	目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
			実績			97.0	95.0	87.4
			達成率(%)	0.0	0.0	102.1	100.0	92.0
指標の説明		年度末時で満2歳児と満6歳児の接種完了率の平均値						
指標	独自指標	種	目標	3	3	3	3	3
			実績			3	3	3
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		助成事業のある任意予防接種の種類						
指標	KPI	回	目標	7	7	6	6	6
			実績			6	7	7
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	116.7	116.7
指標の説明		広報紙およびホームページ等の掲載回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		市民に対し、感染症予防や重症化予防のため、周知を徹底し接種率の向上に努めました。未接種者の状況把握を徹底し個別に接種勧奨を行いました。今後も関係機関との連携を図りながら、スムーズに業務を遂行し、分かりやすい周知徹底に努めていきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	各健診や教室にて未接種者の状況を把握し、個別に接種勧奨を行っています。課内間での情報共有に努め、接種に関する相談や手続きにおいて、来庁者からの相談や電話相談にはできるだけ細やかな対応に努めています。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	市民への周知を徹底し接種率の向上に努めていきます。平成31年度のB類定期予防接種の広域化で県内統一を図る予定であることから、スムーズに業務遂行できるよう努めます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-3	子育て支援の充実
	基本施策		家庭での保育への支援			
実施事業名(小事業)	予防接種事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	定期予防接種の接種計画の提示や接種勧奨通知の発送を適宜行うなど、接種率向上と適切な接種を推進していく必要があります。					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	02	予防費
大	事業	051	感染症対策事業	中	事業	01	感染症対策事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位:千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	172	11	14	161
	人件費	1,682	2,488	2,488	△ 806
	総事業費	1,854	2,499	2,502	△ 645
人員	正職員	0.24 人	0.36 人	0.35 人	△ 0.12 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.24 人	0.36 人	0.35 人	△ 0.12 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,854	2,499	2,502	△ 645

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 感染症の発生予防及び蔓延防止、また感染による重篤な疾病の引き起こしを予防し、公衆衛生の向上及び健康増進を図る。

【事業の概要】
 感染症法等に基づき、新型インフルエンザ等対策予防接種マニュアルを策定し、随時見直しを行う。また、感染症蔓延予防対策のための啓発活動や災害時の消毒等を行う。

○需用費 172 千円

保健衛生消耗品費	12 千円
修繕料	160 千円

■感染症対策用備蓄物資

物資等名称	規格	数量
塩化ベンザルコニウム液	500ml	18本
カネパスソフト(手指消毒)	1,000ml	10本
ナビロール手袋	100枚入り	1箱
マスク		47,000枚
防護衣		600枚
噴霧消毒器(ハンドスプレー)		2台
じょうろ	10ℓ	3個

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	感染症およびその対策に関する周知広報等	目標	4	4	4	4	4
			実績			7	5	4
			達成率(%)	0.0	0.0	175.0	125.0	100.0
指標の説明		広報紙およびホームページ等で感染症予防についての掲載回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	周知啓発の回数を増やし目標を達成しているが、引き続き効果的な情報発信に努め、感染症予防のために取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	新型インフルエンザ行動計画、および予防接種マニュアルは、国や県の動向を確認しながら、必要に応じて見直しを図っています。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	引き続き市民に対する情報発信や、必要に応じて計画やマニュアルの見直しを図り、感染予防に努めます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	05	保健衛生施設費
大事業	001	保健センター事業			中事業	01	保健センター事業		
小事業									他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市保健センター条例・同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位:千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	864	1,225	1,305	△ 361
	人件費	1,051	671	2,986	380
	総事業費	1,915	1,896	4,291	19
人員	正職員	0.15 人	0.10 人	0.42 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.15 人	0.10 人	0.42 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,915	1,896	4,291	19

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
各種保健事業を実施する保健センター施設の維持管理を行う。

【事業の概要】
単独施設である春江保健センターの適正な運営のため、施設の維持管理や修繕を行う。

○需用費		735 千円
消耗品費	4 千円	
光熱水費	646 千円	
修繕料	85 千円	
○役務費		18 千円
手数料	14 千円	
火災保険料	4 千円	
○委託料		111 千円
消防設備保守点検委託料	22 千円	
清掃委託料	89 千円	

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	施設の維持管理のみの事業であるため、指標を設定しません。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題		保健事業や介護予防事業などを旧町単位の保健センターで実施することで、市民の利便性が図られています。
これまでの見直しや改善等の実績	春江保健センターに団体職員が入っていることで、管理面での経費節減につながっています。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	継続	
目標年度			目標年度		
方向性の説明	老朽化してきている保健センターについて、継続して利用ができるよう適切に維持管理を行っていきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
実施事業名(小事業)	基本施策					
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	06	母子保健費
大事業	001	母子保健事業			中事業	01	母子保健事業		
小事業									他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進			健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-3	子育て支援の充実			
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	母子保健法				
根拠例規	有	坂井市母子保健推進員規則				
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画(健康さかい21計画)				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 各種母子保健事業を行うことで、妊娠・出産・育児に関する不安を軽減するとともに、妊産婦・乳幼児の健康増進を図る。また、特定不妊治療費を助成し、経済的負担の軽減と少子化対策の推進を図る。

【事業の概要】
 年間を通して、妊婦及び母子に対して様々な事業を実施し、母子の健康管理と育児支援を行う。

- 賃金 (新生児訪問嘱託員5名、臨時職員1名) 2,156 千円
- 報償費 (講師、協力者、母子保健推進員、医師手当) 1,022 千円
- 旅費 (新生児訪問嘱託員旅費) 52 千円
- 需用費 (保健衛生用消耗品、栄養指導材料費等) 199 千円
- 委託料 (療育児指導相談事業委託料) 120 千円
- 補助金 (特定不妊治療費助成金) 9,395 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ■男性不妊治療支援 (一般不妊治療や男性の不妊治療への支援) ■特定不妊治療助成金支給
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	12,944	12,641	12,765	303
	人件費	32,510	30,263	26,996	2,247
	総事業費	45,454	42,904	39,761	2,550
人員	正職員	4.58 人	4.47 人	3.05 人	0.11 人
	臨時職員	0.23 人	0.10 人	1.03 人	0.13 人
	人員計	4.81 人	4.57 人	4.08 人	0.24 人
財源内訳	国県支出金	2,072	1,558	900	514
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	43,382	41,346	38,861	2,036

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	赤ちゃん訪問実施率	%	目標	92	92	92	92	92
			実績			93	94	92
			達成率(%)	0.0	0.0	101.5	102.2	99.7
指標の説明		出生児に対しての赤ちゃん訪問率						
指標	5~6か月児育児相談参加率	%	目標	90	90	90	90	90
			実績			90	89	88
			達成率(%)	0.0	0.0	100.1	98.6	98.0
指標の説明		対象者に対しての育児相談参加率						
指標	母子保健推進員数	人	目標	52	52	52	52	52
			実績			42	44	47
			達成率(%)	0.0	0.0	80.8	84.6	90.4
指標の説明		坂井市で母子保健推進員として委嘱している数						
KPI	特定不妊治療費助成件数	件	目標					
			実績			104	113	134
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		特定不妊治療を受けており、一部費用助成を希望する人の件数						
指標に基づく評価		赤ちゃん訪問では、訪問嘱託員を活用し、内容の充実を図りながら実施しており、訪問実施率は増加傾向にあります。育児相談未受診者には、再度受診ハガキや電話での受診勧奨を実施し、参加率向上に努めております。母子保健推進員には、各種教室や幼児健診で計測等の協力を依頼しており、更なる増員を目指しております。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	母子保健事業全般について、周知方法や実施内容・対象等の見直しを随時実施しています。特定不妊治療費助成については、国や県、各市町の動向を把握しながら助成内容を検討し実施しています。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	妊娠期から出産・子育て期にわたり切れ目なく支援できるよう、母子保健事業全般を通して情報収集をしながら、支援の必要な母子への相談を充実し、早期介入・支援体制の強化に努めます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-3	子育て支援の充実
	基本施策	2-1	不妊治療への支援			
実施事業名(小事業)	母子保健事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	経済的負担の軽減と少子化対策の推進につながっています。					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	06	母子保健費
大	事業	001	母子保健事業	中	事業	01	母子保健事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-3	子育て支援の充実		
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	母子保健法			
根拠例規	有	坂井市母子保健推進員規則			
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画(健康さかい21計画)			

3.事業のコスト

(単位:千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費				0
	人件費				0
	総事業費	0	0	0	0
人員	正職員	人	人	人	0.00 人
	臨時職員	人	人	人	0.00 人
	人員計	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金				0
	その他特定財源				0
	一般財源	0	0	0	0

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 各種母子保健事業を行うことで、妊娠・出産・育児に関する不安を軽減するとともに、妊産婦・乳幼児の健康増進を図る。また、特定不妊治療費を助成し、経済的負担の軽減と少子化対策の推進を図る。

【事業の概要】
 年間を通して、妊婦及び母子に対して様々な事業を実施し、母子の健康管理と育児支援を行う。

- 賃金 (新生児訪問嘱託員5名、臨時職員1名) 2,156 千円
- 報償費 (講師、協力者、母子保健推進員、医師手当) 1,022 千円
- 旅費 (新生児訪問嘱託員旅費) 52 千円
- 需用費 (保健衛生用消耗品、栄養指導材料費等) 199 千円
- 委託料 (療育児指導相談事業委託料) 120 千円
- 補助金 (特定不妊治療費助成金) 9,395 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	両親教室開催数	回	目標					
			実績			6	6	8
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		両親教室開催回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	両親教室は、助産師や講師等を活用し、内容の充実を図りながら実施しております。妊娠期からの気付きがある方には教室への参加を促し、個別に相談にのり、妊娠期から出産・子育て期にわたり、切れ目なく支援できるよう支援しております。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	母子保健事業全般について、周知方法や実施内容・対象等の見直しを随時実施しています。特定不妊治療費助成については、国や県、各市町の動向を把握しながら助成内容を検討し実施しています。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	妊娠期から出産・子育て期にわたり切れ目なく支援できるよう、母子保健事業全般を通して情報収集をしながら、支援の必要な母子への相談を充実し、早期介入・支援体制の強化に努めます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-2	妊娠・出産支援の充実
	基本施策	2-2	出産支援の充実			
実施事業名(小事業)	母子保健事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	妊産婦の産前産後の様々な負担の軽減を図り、出産に関する支援の充実につながっています。					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	06	母子保健費
大	事業	051	健康診査事業	中	事業	01	健康診査事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-2	妊娠・出産支援の充実		
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	母子保健法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画(健康さかい21計画)			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 安心して妊娠・出産できる体制を確保するため、健診費の助成を行う。また、健診で異常の早期発見を行い、適切な医療機関につなぐとともに、保護者に対して育児に関する指導を行い、乳幼児の健康保持増進を図る。

【事業の概要】
 妊婦・乳児健診は県内医療機関に委託、子宮頸がん検診は健康管理協会に委託。
 1歳6ヶ月児・3歳児健診は各保健センターにおいて集団で実施。

○報償費(医師、歯科医師、歯科衛生士、視能訓練士等)	2,705千円
○需用費(幼児健診消耗品、栄養指導材料費、印刷製本費等)	440千円
○役務費(体重計測定検定料)	9千円
○委託料(妊婦乳児健康診査委託料、幼児精密検査委託料等)	65,387千円
○備品購入費(身長計)	19千円
○扶助費(妊婦乳児健康診査扶助費)	749千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ■妊婦健診助成 ■乳児健診助成
----------	--

3.事業のコスト

(単位:千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	69,309	74,139	75,891	△4,830
	人件費	13,103	10,997	16,280	2,106
	総事業費	82,412	85,136	92,171	△2,724
人員	正職員	1.87人	1.60人	2.29人	0.27人
	臨時職員	0.00人	0.10人	0.00人	△0.10人
	人員計	1.87人	1.70人	2.29人	0.17人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	82,412	85,136	92,171	△2,724

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	1歳6ヶ月児健診受診率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績			97	100	96
		達成率(%)	0.0	0.0	97.2	99.7	96.3	
指標の説明		1歳6ヶ月児健診対象者に対する受診率						
指標	3歳児健診受診率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績			96	97	97
		達成率(%)	0.0	0.0	95.9	97.0	96.5	
指標の説明		3歳児健診対象者に対する受診率						
指標	齲歯のない3歳児の割合	%	目標	85	85	85	85	85
			実績			85	83	77
		達成率(%)	0.0	0.0	99.6	97.2	90.4	
指標の説明		3歳児健診受診者のうち齲歯のない児の割合						
指標	3歳児健診における状態把握率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績			100	100	100
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		3歳児健診受診者は健診で確認、未受診者は電話や園確認等で確認した割合						
指標に基づく評価	幼児健診受診率を向上させる為に、幼保園や健康カレンダー・ホームページ等での周知徹底に努めました。また、未受診者には、電話や園での受診勧奨、訪問等を実施し、母子の状況確認に努めました。幼児健診後、支援が必要な母子には、相談会や医療機関等につなげたり、関係機関と連携をとりながら支援を行いました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	妊婦乳児健診については、県や各市町の実施状況を確認しながら実施しています。幼児健診については、周知方法や実施内容・対象等の見直しを随時実施しています。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	妊婦・乳幼児健診については、現状どおり実施し、支援が必要な母子には関係機関と連携をとりながら実施していきます。また、妊娠期から出産・子育て期にわたり切れ目なく支援できるよう、健診結果等の情報を確認しながら、支援の必要な母子への相談を充実し、早期介入・支援体制の強化に努めます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-2	妊娠・出産支援の充実
	基本施策	2-2	出産支援の充実			
実施事業名(小事業)	健康診査事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	妊婦健診助成をする事で、経済的負担の軽減につながっています。回数については、目標を達成していますが、今後も早期の妊娠届出を促し、全ての助成券を使用する事で、安心して妊娠・出産できる体制づくりを確保していきます。					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大事業	001	健康増進事業			中事業	01	健康サポーター活動事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管 部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課（健増）
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	健康増進法			
根拠例規	有	坂井市健康サポーター設置要綱			
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画（健康さかい21計画）			

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	76	89	98	△ 13
	人件費	2,873	4,162	4,692	△ 1,289
	総事業費	2,949	4,251	4,790	△ 1,302
人員	正職員	0.41 人	0.62 人	0.66 人	△ 0.21 人
	臨時職員	0.00 人	0.10 人	0.00 人	△ 0.10 人
	人員計	0.41 人	0.72 人	0.66 人	△ 0.31 人
財源内訳	国県支出金	2	5	3	△ 3
	その他特定財源	34	60	29	△ 26
	一般財源	2,913	4,186	4,758	△ 1,273

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 健康サポーターの養成と、その活動支援を通して、地域における市民の自主的な健康づくりの推進及び市が実施する健康づくり事業の円滑な推進を図る。</p> <p>【事業の概要】 市の健康づくりに関する事業を通して地域の健康啓発活動を行い、地域全体の健康意識向上を図る。健康サポーター自身の健康意識向上を図るため、定期的な研修を実施する。また、新規養成講座を開催し、健康サポーター数を確保していく。</p> <p>（対象者）健康づくりに関心のある坂井市民</p> <p>○報償費（講師謝礼2名、活動手当27名） 33 千円</p> <p>○需用費（保健衛生用消耗品費等） 43 千円</p>

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	健康サポーター数	人	目標	100	100	100	100	100
			実績			102	94	98
		達成率(%)	0.0	0.0	102.0	94.0	98.0	
指標の説明		健康サポーターの登録者数						
指標 独自指標	健康サポーター活動延べ人数	人	目標	80	80	80	80	80
			実績			58	41	53
		達成率(%)	0.0	0.0	72.5	51.3	66.3	
指標の説明		健康づくり活動を行った健康サポーター延べ数						
指標 独自指標	健康サポーター活動回数	回	目標	15	15	15	15	15
			実績			7	5	9
		達成率(%)	0.0	0.0	46.7	33.3	60.0	
指標の説明		健康サポーターが参加した健康づくり活動の回数						
指標 独自指標	健康サポーター研修会等開催数	回	目標	6	6	6	6	6
			実績			5	5	6
		達成率(%)	0.0	0.0	83.3	83.3	100.0	
指標の説明		健康サポーター対象に行う研修会数						
指標に基づく評価		健康サポーターの退会者もいますが、毎年養成講座を行うことで新規加入者を確保し、全体数の維持ができています。健康づくり活動についての研修等を実施したことから健康サポーターの活動の場が増え、活動人数も増加しました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	積極的に健康サポーター活動を行っている会員の高齢化等により、活動回数が減少してきていましたが、市民への広報普及の媒体を活用した地域での健康啓発活動ができるようになってきました。今後どのように活動の場を広げていくのが課題となっています。
これまでの見直しや改善等の実績	新たな健康サポーター活動に結び付けられるよう、研修会では健康意識の向上を目的とするものの他、活動をイメージできるよう具体的な広報普及の媒体作りの内容も取り入れて行いました。	

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	健康サポーターの地域での健康づくり活動が活発に行えるよう取り組んでいきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大	事業	001	健康増進事業	中	事業	11	食育推進事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	食育基本法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市食育推進計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
市民の食に関する意識の向上、知識・技術の習得を図り、食を通して健康づくりを推進する。また、食に関係する様々な人や機関の協働による食育の強化を目的とする。

【事業の概要】
坂井市食育推進計画に基づき、関係団体や行政等の連携の基盤となる「坂井市食育市民ネットワーク」が、団体相互の情報交換や交流を深め食育活動を市民に広げる。また、食生活改善推進員は、地域に根ざした食育活動を展開し、地域住民の健康意識の向上を図る。年間を通し様々な食育事業を実施し健康支援・啓発を行う。

食育推進会議委員	26名
食育ネットワーク会員	163団体等
食生活改善推進員	79名
○報償費(講師謝礼、委員等報償、協力者謝礼等)	701千円
○需用費(講習会材料費、印刷費等)	471千円
○役務費(検便手数料)	25千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位:千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	1,197	1,157	1,224	40
	人件費	13,173	12,016	11,058	1,157
	総事業費	14,370	13,173	12,282	1,197
人員	正職員	1.88人	1.79人	1.44人	0.09人
	臨時職員	0.00人	0.00人	0.40人	0.00人
	人員計	1.88人	1.79人	1.84人	0.09人
財源内訳	国県支出金	0	0	5	0
	その他特定財源	30	47	30	△17
	一般財源	14,340	13,126	12,247	1,214

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	坂井市食育ネットワーク加入数	団体	目標		166	163	154	130
			実績			163	156	147
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	101.3	113.1	
指標の説明		坂井市食育市民ネットワーク加入団体数						
指標 独自指標	坂井市食生活改善推進員数	人	目標	108	108	108	108	108
			実績			79	78	86
		達成率(%)	0.0	0.0	73.1	72.2	79.6	
指標の説明		坂井市食生活改善推進員加入者数						
指標 独自指標	坂井市食生活改善推進員活動数	回	目標	200	200	200	200	200
			実績			143	166	177
		達成率(%)	0.0	0.0	71.5	83.0	88.5	
指標の説明		坂井市食生活改善推進員会の活動数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	食育活動を充実させるため、食育ネットワーク加入団体の増加に努めて目標を達成しました。引き続き加入団体数を増やしていくとともに、活動の幅を広げるため、新規業種の加入増加に努めていきます。また、坂井市食生活改善推進員数を増やし、地域食育活動を充実させていけるよう取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	<p>食生活改善推進員は地域における食育の推進、健康づくりの担い手として地域や学校、行政などから多くの依頼があり熱心に活動しています。課題として、会員の高齢化に伴い会員数が減少傾向にあること、一部の会員に負担が多くかかっていることがあります。</p> <p>食育ネットワークでは、食育関連団体等の連携を促進し、食育に関する啓発・情報提供等の活動を支援しており、多職種連携で食育の普及と推進に寄与しています。</p> <p>食生活改善推進員の会員数増加に向け広報誌等を用いて積極的に周知を行い、今年度開催した養成講習会には10人の参加がありました。また、会の活動方法や運営方法について随時検討しながら改善に努めています。</p>		

6.今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度	目標年度	平成32年度
方向性の説明	<p>坂井市食育推進計画に基づく食育活動を市が主体となり、食に関係する人・機関の協働による食育の強化を今後も継続していきます。</p>		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大	事業	001	健康増進事業	中	事業	16	がん検診事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課（健増）
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	がん対策基本法			
根拠例規	有	坂井市健康診査等実施規則			
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画（健康さかい21計画）			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 がんを早期発見し、適切な治療につなげ、がんによる死亡の減少と重症化予防を目的とする。

【事業の概要】
 5項目のがん検診を、集団又は個別（医療機関）の方法で実施。40～74歳（子宮頸がんは21歳以上）の市民全員に受診券を発行。大腸、子宮頸、乳がん検診については、指定年齢の市民に無料クーポン券を発行。また、前立腺がん検査・胃がんリスク血液検査の実施、血液中アミノ酸濃度測定検査費の助成を行い、受診者拡大を図る。

○報償費（検診協力者謝礼）	85 千円
○需用費（保健衛生用消耗品、印刷製本費）	4,798 千円
○役務費（郵便料）	3,103 千円
○委託料（がん検診委託料）	51,467 千円
○補助金（血液中アミノ酸濃度測定検査費助成金）	456 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	59,909	66,345	70,091	△ 6,436
	人件費	18,498	9,868	10,025	8,630
	総事業費	78,407	76,213	80,116	2,194
人員	正職員	2.64 人	1.47 人	1.41 人	1.17 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	2.64 人	1.47 人	1.41 人	1.17 人
財源内訳	国県支出金	6,607	6,590	8,340	17
	その他特定財源	4,783	4,927	6,066	△ 144
	一般財源	67,017	64,696	65,710	2,321

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	子宮頸がん検診受診対象者への継続受診（2年前に受診歴あり）の勧奨	%	目標	45.0	45.0	40.0	40.0	40.0
			実績			43.9	40.8	37.4
		達成率(%)	0.0	0.0	109.8	102.0	93.5	
指標	指標の説明	通知対象者のうち受診した者の割合（受診率・効果）						
指標	大腸がん検診無料対象者への受診勧奨	%	目標	20.0	20.0	20.0	18.2	65.9
			実績			10.0	21.3	16.9
		達成率(%)	0.0	0.0	50.1	117.0	25.6	
指標	指標の説明	通知対象者のうち受診した者の割合（受診率・効果）						
指標	乳がん検診無料対象者への受診勧奨	%	目標	35.0	35.0	35.0	48.9	34.0
			実績			20.9	24.8	3.8
		達成率(%)	0.0	0.0	59.6	50.7	11.2	
指標	指標の説明	通知対象者のうち受診した者の割合（受診率・効果）						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	市のがん検診は、手軽に受診できるということが周知でき、効果があったと思われま。また、継続受診者や集団検診申込み後未受診者など、検診関心層に対するの勧奨通知も行ったため、効果につながったと考えられます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	<table border="1"> <tr> <td>効率性に課題</td> <td>有効性に課題</td> <td></td> </tr> </table>	効率性に課題	有効性に課題	
効率性に課題	有効性に課題			
これまでの見直しや改善等の実績	<p>受診方法についての周知や勧奨方法の工夫が必要であると考えます。また、がん検診が手軽にかつ効果的に受診できることをもっと周知していく必要があると思います。</p> <p>がん検診無料クーポン券未使用者や、大腸がん容器購入後未提出者、予約後未受診者に対する受診勧奨通知を重ねました。勧奨通知内容を改善することで、受診者拡大にもつながりました。また、大腸がん検診対象者に対してアンケートを実施し、希望者には容器を送付し受診しやすい工夫をしました。さらに、28年度からは胃がん検診において50歳以上の者に対して、個別検診での内視鏡検査も導入し、胃がんの個別検診受診者増につながりました。</p>			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	<p>がん検診の定期的受診が、がんを早期発見し早期治療につなげるうえで重要ですが、市の検診が検診の種類によって毎年受診可能なもの、2年に1度受診可能なものがあり、受診方法についての周知や勧奨方法の工夫が必要であると考えます。また、がん検診が手軽にかつ効果的に受診できることをもっと周知していく必要があると思います。</p>		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	<table border="1"> <tr> <td>政策パッケージ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>施策</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本施策</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	政策パッケージ				施策			基本施策						
政策パッケージ				施策											
基本施策															
実施事業名(小事業)															
事業で得られたノウハウや気づき等															

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大	事業	001	健康増進事業	中	事業	21	基本健診事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	健康増進法			
根拠例規	有	坂井市健康診査等実施規則			
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画(健康さかい21計画)			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 各種健診を受診することで自分自身の健康状態をチェックすることができ、若いうちから健康に対する関心を高め、健康づくりの契機となることを目的とする。また、感染症予防法に基づき、結核検診を実施する。

【事業の概要】
 坂井市内の保健センター、コミュニティセンター等において、集団健診を実施した。

- 健康診査(20歳以上39歳以下で職場等で健診の機会のない人、生活保護世帯)
- X線検査による結核検診(20歳以上)
- B型肝炎ウイルス検査(20歳以上)・C型肝炎ウイルス検査(40歳以上)
- 歯科健診(20歳以上)

○報償費(歯科医師等42名・健診協力者6名)	608千円
○需用費(封筒等印刷費)	279千円
○役務費(郵便料)	345千円
○委託料(基本健診・結核検診・肝炎検査委託料)	10,575千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位:千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	11,807	8,591	9,585	3,216
	人件費	6,306	5,035	9,100	1,271
	総事業費	18,113	13,626	18,685	4,487
人員	正職員	0.90人	0.75人	1.28人	0.15人
	臨時職員	0.00人	0.00人	0.10人	0.00人
	人員計	0.90人	0.75人	1.38人	0.15人
財源内訳	国県支出金	1,590	712	868	878
	その他特定財源	871	952	1,008	△81
	一般財源	15,652	11,962	16,809	3,690

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	B型・C型肝炎検査を受けた延べ人数	目標	1,900	1,900	950	950	950
			実績			1,539	786	1,020
			達成率(%)	0.0	0.0	162.0	82.7	107.4
指標の説明		B型・C型肝炎検査受診者数						
指標	独自指標	39歳以下の健診受診者数	目標	450	450	450	510	510
			実績			388	383	437
			達成率(%)	0.0	0.0	86.2	75.1	85.7
指標の説明		39歳以下の基本健診受診者数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	39歳以下の健診受診者数減少は若年人口の低下に伴うものと考えられます。無料肝炎検査(節目年齢で履歴のない人が対象)の通知方法について平成29年度から健診通知に同封せず、単独でハガキにて個別通知にしたところ、倍増しました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	39歳以下の人達が受けやすいよう、託児健診の機会を設けたり、母子健診における39歳以下の健診の啓発、子育て情報誌等への健診情報の掲載を実施しました。また、節目年齢で履歴のない人に行う肝炎無料検査について、勧奨方法を変えたことで大きな受診効果が得られたようです。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	若い世代からの健康管理を推進し、生活習慣病を予防することが重要であり、健診機会のない市民に対する健診を継続して市が行っていく必要性があります。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大事業	001	健康増進事業			中事業	26	健康教育・相談事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		所管 部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進			健康長寿課（健増）
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	健康増進法				
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画（健康さかい21計画）				

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	425	417	488	8
	人件費	8,408	5,236	6,896	3,172
	総事業費	8,833	5,653	7,384	3,180
人員	正職員	1.20 人	0.78 人	0.97 人	0.42 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.20 人	0.78 人	0.97 人	0.42 人
財源内訳	国県支出金	73	57	93	16
	その他特定財源	239	265	263	△ 26
	一般財源	8,521	5,331	7,028	3,190

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 市民が健康について学んだり、体験できる機会を提供することで、市民が自らの健康に関心を持ち、自ら健康づくりができるよう支援する。</p> <p>【事業の概要】 集団または個別を対象に、生活習慣の改善や健康づくりに取り組み、「健康寿命の延伸」を目指した健康教育や健康相談を行う。また、各コミュニティセンター等地域で実施する出前健康講座や出前健康フェアでは、地域での活動を基礎としているまちづくり協議会と連携して実施することで、地域住民の健康づくりを支援する。</p> <p>○報償費（健康教室講師・健康相談会協力者謝礼） 110 千円 ○需用費（啓発用消耗品等） 315 千円</p>

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	健康相談参加者数	人	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	2,100
			実績			533	771	2,234
			達成率(%)	0.0	0.0	53.3	77.1	106.4
指標の説明		出前健康講座等での健康相談参加者数						
指標	健康相談実施回数	回	目標	50	50	50	50	200
			実績			30	34	110
			達成率(%)	0.0	0.0	60.0	68.0	55.0
指標の説明		出前健康講座等での健康相談実施回数						
指標	健康教育参加者数	人	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	2,100
			実績			685	690	2,499
			達成率(%)	0.0	0.0	68.5	69.0	119.0
指標の説明		出前健康講座、病態別健康教育等の参加者数						
指標	健康教育実施回数	回	目標	50	50	50	50	100
			実績			27	24	66
			達成率(%)	0.0	0.0	54.0	48.0	66.0
指標の説明		出前健康講座、病態別健康教育等の実施回数						
指標に基づく評価		出前健康講座（パートナーシップ講座）の利用が増えたため、健康教育の実施回数は増加しています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 健康教育、健康相談における1回あたりの参加者数は、定員より少ない場合があります。健康づくり、生活習慣病予防のための魅力あるテーマの取り入れや周知方法の工夫が課題です。しかし、まちづくり協議会対象のパートナーシップによる出前健康講座は、定例化しつつあり、市がすすめる健康づくり「プラスマイナスチャレンジ」の啓発にも役立っています。
これまでの見直しや改善等の実績	出前健康講座では、プラスマイナスチャレンジについての体験や座学での健康教室を行っていますが、利用団体が増え、継続実施につながるようになっており、啓発の機会が増加傾向にあります。

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	まちづくり協議会等と連携して地域で実施する出前健康講座や健康相談を実施していくとともに、市主催の健康教室では、事後のアンケートより、市民のニーズを把握し、市民が自らの健康に関心を持ち、自ら健康づくりができるように、企画、実施していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大	事業	001	健康増進事業	中	事業	31	後期高齢者事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	高齢者の医療の確保に関する法律			
根拠例規	有	坂井市健康診査等実施規則			
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画(健康さかい21計画)			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
後期高齢者医療制度加入者を対象とした健診を実施することにより、高齢者自身の健康意識の向上と、生活習慣病の重症化予防及び早期発見、早期治療につなげることで、健康寿命の延伸を図る。	
【事業の概要】	
<ul style="list-style-type: none"> 保健センター及び各コミュニティセンター等での集団健診を実施します。 市内45会場 自己負担金 無料 県内指定医療機関で個別健診を実施します(県医師会と集合契約) 自己負担金 無料 1日、2日人間ドックを実施(県内19医療機関) 	
○需用費 (事務用消耗品費、封筒等印刷費)	67 千円
○役務費 (郵便料)	552 千円
○委託料	19,077 千円
後期高齢者健康診査委託料	15,154 千円
人間ドック委託料	3,778 千円
健診データ管理委託料	48 千円
歯科健診業務委託料	97 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト (単位:千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	19,696	19,470	19,011	226
	人件費	3,994	6,243	3,768	△ 2,249
	総事業費	23,690	25,713	22,779	△ 2,023
人員	正職員	0.57 人	0.93 人	0.76 人	△ 0.36 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.57 人	0.93 人	0.76 人	△ 0.36 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	19,643	20,495	18,925	△ 852
	一般財源	4,047	5,218	3,854	△ 1,171

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	後期高齢者健診受診率	%	目標	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0
			実績			16.2	16.3	16.4
		達成率(%)	0.0	0.0	95.0	95.9	96.5	
指標	指標の説明	後期高齢者医療加入者のうち健診受診している割合						
指標	後期高齢者健診の広報活動	回	目標	4	4	4	4	4
			実績			4	4	4
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明	後期高齢者健診について広報誌、ホームページ等での広報回数						
指標	後期高齢者人間ドック受診者数	人	目標	150	150	150	130	120
			実績			135	131	116
		達成率(%)	0.0	0.0	90.0	100.8	96.7	
指標	指標の説明	後期高齢者人間ドックの受診者の数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	広報誌やホームページ等で周知を行っていますが、後期高齢者健診の受診率はあまり変化していない現状です。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	県内医療機関での個別健診を始めたことにより受診者数が増えており、かかりつけ医での個別的な健康管理につながっています。平成27年度から、事務の効率化を図るため国保の人間ドックと併せて見積徴収し、契約・支払事務等を行いました。また、国保・後期のドックの受付窓口を一本化し、市民への利便性を図りました。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	高齢者の医療の確保に関する法律により実施の義務付けがあることから、今後も継続が必要です。県後期高齢者医療広域連合の指導により、保険者インセンティブの推進に係る実施方法について、さらに検討を深めていく必要があります。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大	事業	001	健康増進事業	中	事業	36	ウォーキング事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課（健増）
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	健康増進法			
根拠例規	有	坂井市IT活用健康づくり推進事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画（健康さかい21計画）			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
いつでも誰でも気軽に取り組めるウォーキングによる健康づくりを推進し、生活習慣病の予防を図る。	
【事業の概要】	
若者から高齢者まで幅広い年代にウォーキングを推進するため、ITシステムで歩数管理ができるIT歩数計の活用をすすめる。またウォーキング大会やウォーキング教室を実施し、正しいウォーキング方法を普及する。	
○報償費（講師謝礼9名）	90 千円
○需用費（啓発用消耗品費）	4 千円
○委託料（電算機器保守点検委託料）	726 千円
○使用料及び賃借料（IT健康促進システム機器借上料）	288 千円
IT歩数計購入者（延）	863 人
*平成28年度に製造中止になったため、今年度は新規購入者なし	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	1,108	2,301	2,151	△ 1,193
	人件費	2,663	4,833	5,261	△ 2,170
	総事業費	3,771	7,134	7,412	△ 3,363
人員	正職員	0.38 人	0.72 人	0.74 人	△ 0.34 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.38 人	0.72 人	0.74 人	△ 0.34 人
財源内訳	国県支出金	127	317	405	△ 190
	その他特定財源	925	1,842	1,194	△ 917
	一般財源	2,719	4,975	5,813	△ 2,256

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	ウォーキング教室開催回数	回	目標			8	8	8
			実績			6	8	6
			達成率(%)	0.0	0.0	75.0	100.0	75.0
独自指標	指標の説明 ウォーキング教室の開催数							
指標	ウォーキング教室参加者数（延べ）	人	目標			160	160	160
			実績			134	190	110
			達成率(%)	0.0	0.0	83.8	118.8	68.8
独自指標	指標の説明 ウォーキング教室の延参加者数							
指標	ウォーキング大会開催回数	回	目標			1	1	1
			実績			1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
独自指標	指標の説明 ウォーキング大会の開催数							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	正しく効果的なウォーキングを学ぶための教室や、ウォーキングの楽しさを体験する手段としてのウォーキング大会を計画通り行うことができました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
これまでの見直しや改善等の実績	<p>現在市が取り扱っているIT歩数計が平成28年度に製造中止になったことにより、新規利用者を増やせないのはもちろんですが、修理や交換などの対応もできない状況です。市が活用しているIT歩数計の機能と同等であったり、多機能を備えたものが多く出てきており、IT歩数計の新規利用者数は横ばいです。IT歩数計関連機器システムの今後の方向性について、市民ニーズに沿って取り組みを検討していく必要があります。ウォーキング大会や教室は、大変好評です。</p> <p>ウォーキングを生活習慣にうまく取り入れ、正しい歩き方をマスターできるようにするため、教室を単発での開催ではなく、継続開催としました。</p>	

6.今後の方向性

短期的な方向性		廃止	中長期的な方向性		
目標年度	平成30年度		目標年度		
方向性の説明	<p>現在市が取り扱っているIT歩数計が平成29年度にはいり製造中止になったことにより、新規利用者を受け付けないなどの事業の縮小を余儀なくされました。IT歩数計の新規利用者が今後見込めないことから、平成29年度で本事業は廃止することとしました。しかしながら、健康づくりのためには、ウォーキングを推進する教室等の継続は必要と考えられるため、今後は健康教室・相談事業で実施をする計画としています。</p>				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
実施事業名(小事業)	基本施策			
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大	事業	001	健康増進事業	中	事業	41	心の健康推進事業		
小	事業								他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課（健増）
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	自殺対策基本法、自殺総合対策大綱			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画（健康さかい21計画）			

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	609	604	547	5
	人件費	2,873	1,410	3,270	1,463
	総事業費	3,482	2,014	3,817	1,468
人員	正職員	0.41 人	0.21 人	0.46 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.41 人	0.21 人	0.46 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金	304	302	410	2
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,178	1,712	3,407	1,466

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	ストレスが高い人（ハイリスク者）に対し、心身のストレスに対応する方法等を個別的にアドバイスすることで、市民の心の健康の保持増進を図る。
【事業の概要】	市の母子保健事業や成人の健康診査等でストレスチェックを実施し、高ストレス者に対し臨床心理士など専門家によるフォローを行う。また、ストレスチェック票回収時に心の健康に関するチラシを配布することで、日頃より心の健康に関心を持ってもらい、セルフケア能力を高められるよう知識の普及を図る。
○報償費（講師謝礼、協力者謝礼）	475 千円
○需用費（啓発用消耗品、啓発チラシ印刷代）	134 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自の指標	人	目標					
			実績			28	30	21
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		年間の相談可能人数における利用人数により、サービス需要の確認						
指標	独自の指標	%	目標	100	100	100.0	100.0	100.0
			実績			90.9	97.7	95.1
			達成率(%)	0.0	0.0	90.9	97.7	95.1
指標の説明		配布したストレスチェック票利用してのストレスチェックの実施						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	ストレスチェックでは、一人一人ストレスチェック票を確認して、ストレス度が高い方に対し、相談機関の紹介や、医療機関の受診をすすめています。実施率より、高リスク者の発見に役立っているといえます。また、こころの相談では、継続して利用する方もおり、身近な相談場所としてニーズは高いと考えます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	ストレスチェック票より、高リスク者には、相談機関や医療機関の紹介をしていますが、相談後の経過確認をしていないため、その後のストレス度や相談機関へつながったかの確認ができていないのが現状です。また、相談時間を十分に取れない場合もあるので、実績を考慮しながら、相談時間について検討が必要です。		
	こころの相談会の専門カウンセラーを固定化することで、相談者との信頼関係を築きながら、フォローしているケースがあります。また、関係機関との連携を図ることで、必要な情報を収集でき、支援につながったケースもあります。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成31年度		目標年度		
方向性の説明	こころの相談利用者が、相談時間を有効に活用し、必要な情報の提供に努められるよう、相談時間の延長や実施回数について検討を予定しています。また、関係機関との連携が必要な場合は、連携を図りながら支援していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名（小事業）					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	09	健康増進費
大	事業	051	健康都市推進事業	中	事業	01	健康都市推進事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管 部局	市民福祉部
	基本計画	6-5	健康づくりの推進		健康長寿課(健増)
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	健康増進法			
根拠例規	無	坂井市健康なまちづくり条例			
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画(健康さかい21計画)			

3.事業のコスト (単位:千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	2,160	2,224	2,150	△ 64
	人件費	7,357	4,162	8,744	3,195
	総事業費	9,517	6,386	10,894	3,131
人員	正職員	1.05 人	0.62 人	1.23 人	0.43 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.05 人	0.62 人	1.23 人	0.43 人
財源内訳	国県支出金	414	525	500	△ 111
	その他特定財源	141	131	114	10
	一般財源	8,962	5,730	10,280	3,232

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
市民一人ひとりが、「坂井市健康都市宣言」を契機に「健康」に対する意識を高め、生涯元気で健やかに生きることを目指す。また、地域社会全体で健康を支える仕組みづくりの構築により健康都市を推進し、医療費や介護費の抑制と健康寿命の延伸を図る。

【事業の概要】

- 健康フェスタの実施、健康ウォーキング大会の実施
- 食と健康に関する図画ポスターコンクールを実施(健康食育フェスタにて展示)
- プラスマイナスチャレンジポスター作成
- 健康なまちづくり推進協議会の開催 1回/年実施
- 健康カレンダーの配布 30,000部
- 生活習慣改善チェックシート(プラスマイナスチャレンジシートの作成、配布)
- プラスマイナスチャレンジ(運動・栄養実践編)リーフレットの作成

○報酬費(健康なまちづくり推進協議会委員報酬) 57千円
 ○報償費(健康フェスタ協力者等謝礼) 25千円
 ○需用費(啓発用消耗品費、会議用紙、ポスター・パンフレット印刷費等) 1,798千円
 ○役務費(郵便料) 8千円
 ○使用料及び賃借料(健康チェック測定機器借上料、会場使用料) 272千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
独自指標	健康フェスタ参加数	人	目標	1,200	1,200	500	500	350
			実績			1,088	1,000	388
			達成率(%)	0.0	0.0	217.6	200.0	110.9
指標の説明		市主催の健康フェスタ会場への来場者数						
独自指標	食と運動からはじまる図画ポスターコンクール応募作品数	点	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績			997	1,056	997
			達成率(%)	0.0	0.0	99.7	105.6	99.7
指標の説明		市内小学校からの図画ポスターコンクール応募数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	健康フェスタを市民スポーツ祭と合同開催することで、多くの市民の参加につながりました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	健康フェスタについては、市民スポーツ祭と合同で開催することで、より多くの市民の参加につながり、食と運動を通して健康づくりを啓発する機会になりました。今後は、関係機関の類似事業等との連携を図ることで、市民自らが健康行動をより実践していけるように検討していきます。
これまでの見直しや改善等の実績	健康フェスタを市民スポーツ祭と合同開催することで、より多くの市民を取り込んだイベントとなり、市民への健康づくりの啓発の場としました。	

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	継続
目標年度			目標年度	
方向性の説明	健康づくり関連施策を効果的に推進していくために、業務分担の見直し・整理を行いながら、市民の健康を支援する環境づくりを図ります。より多くの市民に対して健康づくりへの意識啓発をしていけるように関係会館との連携調整を図っていきます。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				